

第14回： 化学物質による環境汚染の今後の動向

開催日： 1989年1月26日～27日 / 会場： 「日本自動車会館」東京都

開催趣旨： 近年、トリクロロエチレン、トリブチルスズ化合物、ダイオキシン等の化学物質による環境汚染事例が大きく取り上げられております。当協会では、すでにこれら化学物質による環境汚染セミナーを企画し、好評を得ておりますが、今回は、これら問題となっている化学物質の今後の動向を中心に特集します。

化学物質環境汚染の現状と課題、今後の方向性を開設するとともに、化学物質のリスクアセスメント、安全性評価、生体影響評価等についても掘り下げた解説を予定しております。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- OECDにおける化学物質の安全性評価（北野大／(財)化学品検査協会）
- ダイオキシンによる環境汚染（飯田芳男／成蹊大）
- 有機スズ化合物による汚染実態とその対策（山本秀正／環境庁）
- 農薬による環境汚染（後藤真康／残留農薬研）
- 先端産業に伴う環境汚染（泉川碩雄／東京都環科研）
- 環境化学物質の生体影響評価（中沢泰男／東京医歯大）
- 化学物質のリスクアセスメントの意義（横山栄二／国公衛院）
- 環境化学物質の水生生態系への影響評価（茂岡忠義／三菱化成安科研）
- 化学物質汚染対策の今後の方向（中杉修身／国公害研）